

令和 6 年度
生涯学習に関する市民調査

調査報告書

令和 7 年 1 月

目 次

1. 調査概要.....	1
2. 調査結果の概要.....	2
3. 調査結果.....	7
4. 自由回答.....	38
資料編 1. クロス集計結果（年齢）	45
資料編 2. クロス集計結果（職業）	57
資料編 3. アンケート調査票.....	68

1. 調査概要

【調査概要】

調査目的	個人の学びの現状、地域や社会活動の現状、現代社会における市民の生涯学習に対する意識やニーズを把握する。
調査期間	令和6年10月18日（金）～11月8日（金）
対象地域	金沢市全域
対象者	金沢市内在住、18歳以上80歳未満の男女3,000人
抽出方法	住民基本台帳より無差別抽出（ただし、小学校通学区ごとに人口分布率で按分）
調査方法	郵送法（配布：郵送、回収：郵送又はインターネット回答）
調査項目	1. 回答者の生涯学習の状況について ・ここ約1年で、どのような生涯学習活動を行ったか ・学習のきっかけや動機、学習方法 など
	2. 金沢市の生涯学習の取り組みについて ・地区公民館の認知度、満足度、希望や要望 ・今後の学びに対するニーズ（内容、場所・形態、情報収集方法） など
	3. 地域や社会での活動に関する考え方について ・地域や社会で行われる活動への参加状況 ・参加が難しい理由 など
	4. 回答者の属性 ・年齢、校区、居住期間、就業状況 など
	5. 生涯学習に関する意見（自由記載）
回収結果	765人（郵送：510人 インターネット：255人） 回収率：25.5%

（調査票の見方）

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- ・基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示している。
- ・1人の回答者が複数回答する設問ではその比率の合計は100.0%を上回ることがある。
- ・一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがある。
- ・標本誤差

母集団のサイズ（N）：38万人（令和6年1月時点の金沢市の18歳以上の人口）

標本のサイズ（n）：765人（回答者数）

信頼水準を95%（Z値：1.96）とし、標本誤差を求めるための公式に当てはめると、今回のアンケート調査における標本誤差範囲は約±3.55%となる。